

人生 仕事

女優

浅利香津代さん(71)

▶▶ 2

かたる

談

演劇の勉強励む日々 秋田なまりに苦勞

も3人を抱えて働きのがら
必死に暮らしていた。でも
最後は体を壊し、沼に飛び
込んで自殺してしまおうとい
う悲しい物語です。

私、悔しくて涙が止まり
ませんでした。一生懸命働
いたのになぜ報われないの
かと。思わず映画館のスク
リーンの前に駆け寄り、女
性を助け出そうとして隣の
友達に慌てて止められまし

女性が出てきた。「どうい
うご用でしょう。私望月で
すけど」とって。スクリーン
と全然印象が違ってびっく
りでした(笑)。映画を見
て感動した話をしたら「あ
なた面白いわね、お上がん
なさい」とお茶とお菓子を
出してくれたんです。

そして、こんなふうに教
えてくれました。「演劇を
やりたいなら映画や舞台を
望月先生の勉強会にも通っ

なたもいらっしやい」と声
を掛けてもらったんです。
△日大芸術学部演劇学科
に進学した浅利さんは台本
の読み方や表現などを勉
強。日舞、三味線、長唄な
どの稽古にも通った

大学の授業の後も新劇団
や歌舞伎、新派を見たり、
望月先生の勉強会にも通っ

授業で「ロミオとジュリエ
ット」の朗読がありました。
前日にアパートでアクセ
ントを勉強し、100人ぐら
いの教室の1番前の席で読
み始めた。

数行読むと後ろからさざ
波のように笑いが広がった
んです。あ、間違ったかな
と文字を確認したけど、間
違ってない。続けて読んで
たら、今度は掛け声でした。

など。顔が真っ赤になっ
ちゃって。

ちゃんとアクセント辞典
を調べてたので、すごいシ
ョックでした。次の日から
は直そうと必死。ババ(祖
母)の電話は5回に1回し
か取らず、秋田にも帰らな
い。仲のいい友達に「もし
私が話しておかかったら
必ず言っておね」と頼む毎
日でした。

「青森」「山形」「秋田」
「百姓」と。それで初めて
分かったんです。なまっ

田浩二
次回は27日掲載

△浅利さんは秋田北高時
代、後に東京で師事する女
優望月優子さんと出会う。
たまたま見た映画がきつ
けだった

女優の自宅を訪問

高校2年の時、今井正監
督の映画「米を見ました」
貧しい農家の女性が、子

農家の女性を演じたのが
望月先生。芸能雑誌の先生
の人生相談コーナーに手紙
の宛先があり、感動を伝え
たくて思い切って訪ねる決
心をしました。

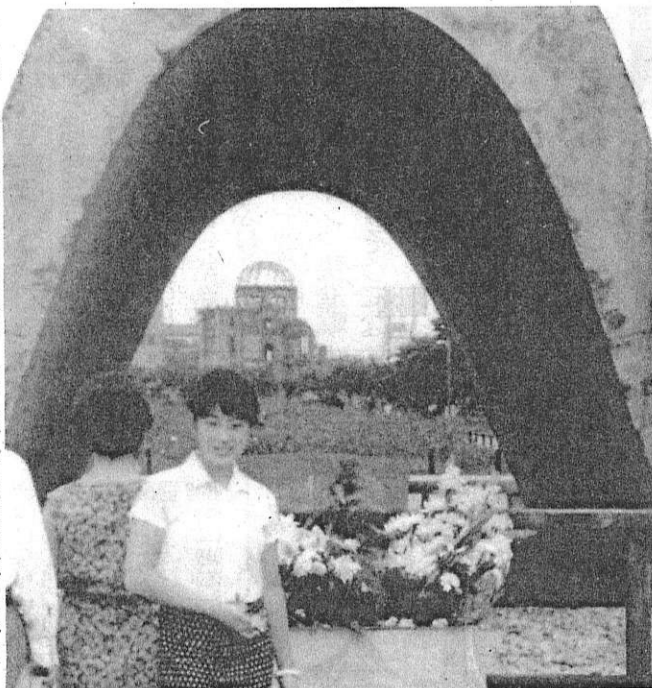
東京・西荻窪の先生の家
を見つけてブザーを押す
と、紫のワンピースに真っ
赤な口紅のパーマをかけた

たくさん見なさい。新聞も
読みなさい。何が美しく、
何が醜いか。何が正義で何
が不正義か。自分の考えを
持たないと俳優はできない
し、せりふも言えないのよ」

毎週金曜には望月先生の
家に各劇団の若者たちが集
まって勉強会をやっている
ので「東京に出てきたらあ

たりで本当に忙しかった。
しばらくはお下げ髪にブラ
ウス、高校の制服姿で過ご
しました。先輩たちには田
舎から出てきた一生懸命な
子ってかわいがられますし、
た。何か怒られると「はい、
ありがとうございます」っ

て素直だったしね。
最大の悩みは秋田なま
り。大学の「物語術」の



大学1年の時、芝居の勉強をするクラブ合宿で広島市の平和
記念公園を訪れた浅利さん。将来に夢を膨らませていた